
メタデータエディタのAIメタデータアシスタント

AIメタデータアシスタントとは

AIメタデータアシスタントは、大規模言語モデル生成AIを使用して図書館リソースに関する情報を処理し、目録者に関連メタデータを提案して、カタログ作成プロセスをより迅速かつ効率的にします。目録者は、提案されたデータを確認して、それを承認、修正、または却下できるほか、より複雑な専門メタデータや図書館固有のメタデータを追加することもできます。

AIメタデータアシスタントは、図書館リソースの画像とその他の提供された情報を処理し、テキストと意味を抽出し、カタログ作成標準に従って構造化して返すことができます。新しい書誌レコードを作成したり、既存の簡潔なレコードを拡充させるために使用できます。

フェーズ I

AlmaのAIメタデータアシスタントのフェーズIでは、英語でのMARC 21レコードの作成と拡充がサポートされています。コミュニティと協力してAIの機能とメタデータの品質を評価し、今後のフェーズでさらに多くの目録とリソースの言語とフォーマットが追加される予定です。

提供される主題は、米国議会図書館の語彙に照らして検証されており、将来のフェーズでは典拠語彙の選択を増やす予定です。

今後の計画

将来のフェーズでは、より多くの言語、典拠語彙、目録形式のサポートが計画されています。

私たちは世界中のさまざまな図書館と協力して、以下の使いやすさとメタデータの品質を評価しています。

- より多くの言語、主題語彙、カタログ形式。
- 一括レコード拡充プロセス
- 一括レコード作成プロセス

また、一括処理のオプションも検討しており、図書館にとってどのようなメタデータが、どのようなシナリオやワークフローで役立つかを評価しています。

機能と制限

このサービスでは生成AIを適用しているため、出力に制限、不正確さ、または偏りが生じる可能性があります。仲介ワークフローでは、AI機能と図書館員の専門知識を組み合わせ、効率と正確さのバランスをとります。

大規模言語モデル生成AIツールは俊敏であり、その応答は用途によって異なり、時間の経過とともに進化します。私たちは、返されるデータの有用性と正確性を最大限に高め、プロンプトとデータ処理の効率を維持するためにコミュニティと継続して協力しています。

ただし、プロンプトの表現には細心の注意を払っていますが、AIが次を行うようなケースもあります：

- 不正確または一般的なデータ（無関係なエディション情報など）を返すケース
- 専門の目録者のようにカタログ作成標準に正確に従っていないケース(例: ISBD句読点が欠落している、または間違ったMARCフィールドインジケターを使用している)。
- 要求されたすべてのメタデータフィールドが返されるわけではありません。
- 一部の言語でリソースをカタログ作成する際に、その言語が正確に処理されないケース。
- 特定の典拠語彙に対して正しい主題を返さないケース。
- 画像の品質が悪い、画像の背景にノイズが多い、画像が垂直でないなどの特定の条件では、画像を処理できないケース。

これらの制限を緩和するために私たちが行っていること

1. 目録者およびAlmaコミュニティと協力してメタデータの品質を評価し、改善します。
2. 返された題名を典拠ファイルと照合して検証する：返された題名が既存の典拠レコードと一致し、全面的にまたは部分的にリンクすることを確認します。表題は、優先レコードまたは低順位レコードのいずれかに一致する可能性があります。AIによって低順位レコードが提案された場合、メタデータエディターのF3を使用して目録者によって、またはスケジュールされた「[典拠 - 優先レコード修正](#)」ジョブによって、自動的に優先レコードにアップデートできます（詳細については、[レコードに関連するジョブ](#)を参照）。
3. AIモデルの能力の向上に応じて、それぞれの言語や語彙を扱う図書館と協力しながら、段階的にサポートを追加します。
4. 正規化プロセスを適用して、データのフォーマットとクリーンアップを行い、データの来歴情報を追加します。
5. 目録者のフィードバックを監視し、新しいスケジュールされたジョブ「[AI設定の同期](#)」を使用して、プロンプトを定期的に更新します。
6. 図書館がローカル正規化プロセスを構成し、どのデータを保持または追加するかを独自に決定するためのツールを開発します。

Alma環境でAIメタデータアシスタントを有効にする

AIメタデータアシスタントを有効にするには、次の役職が必要です。

- 統括管理者
- 目録管理者
- リポジトリ管理者

AIメタデータアシスタントは、すべての機関でデフォルトで無効になっています。

管理者がこの生成AIツールの利点と限界を確認し、リスクを理解し、図書館でこのツールを使用するかどうか、またどのように使用するか決定したら、管理者は、設定メニューのメタデータエディターのAIメタデータアシスタントの[免責事項](#)
> [リソース](#) > [目録](#) > [AI使用プロファイル](#)を「はい」に設定して保存することで同意できます。

管理者が環境でAIメタデータアシスタントを有効にすると、「[AIによる目録](#)」役職の目録者が使用できるようになります。

サンドボックス環境でのテスト

AIメタデータアシスタントの設定は、「**AI設定の同期**」ジョブを使用して定期的にアップデートされます。これにより、AIモデルが進化、変化しても、AIプロンプトが効果的かつ最新の状態に保たれます。

スケジュールされたジョブは、サンドボックス環境では無効化になっているため、AIメタデータアシスタントをテストする前に、「**AI設定の同期**」を実行して、現在の設定でテストしてください。

1. **ジョブの監視**>**スケジュール**タブに移動します。
2. 作業カテゴリ=**データサービス**でフィルターします。
3. 「**AI設定の同期**」行のアクションから「**今すぐ実行**」(サンドボックス環境で利用可能)を選択します。

ジョブが完了したら、必要な役割のカタログ編集者はMDエディタでAIアシスタントをテストできます。詳細については、[AIメタデータアシスタントを使用](#)を参照してください。

Note

サンドボックスを更新した後、AI使用プロファイルでAIメタデータアシスタントを有効にする設定ページをリセットする必要がある場合があります。

Note

NZレコードを更新するときは、NZSandboxを更新します。ローカルレコードを更新する場合は、IZサンドボックスを更新します。

AIメタデータアシスタントの設定

AIメタデータアシスタントを設定するには、次の役割が必要です。

- 統括管理者
- 目録管理者

正規化プロセスを使用して生成されたメタデータを修正する

図書館がAI生成メタデータの使用をより細かく制御できるように、機関は正規化プロセスを使用してメタデータを修正できます。正規化ルールは、メタデータフィールドとサブフィールドを削除、置換、または追加するために使用できます - たとえば、機関は、カタログに関連するローカルフィールドの追加、AIによって生成された場合は、データ出所サブフィールド（例えばメモフィールドの\$\$7）の特定のフィールドへの追加、生成されたメタデータを含めたくない特定のフィールドの削除を選択することができます。

選択された正規化プロセスは、結果のドラフトが目録者に提供される前に、作成ワークフローとエンリッチメントワークフローの両方で生成されたメタデータに適用されます。

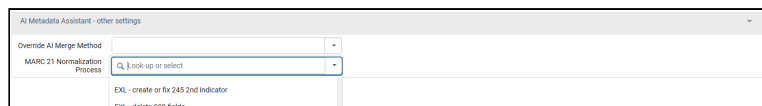
生成されたデータが既存のレコードと結合された場合（AIアシスタントでレコードを強化する場合）、または不足しているフィールドを追加するテンプレートから拡張された場合（新規レコード作成時） - この統合が行われる前に、正規化プロセスは、AI生成データにのみ適用されます。

AI使用プロファイルページ（**設定メニュー**>**リソース**>**目録**>**AI使用プロファイル**）にあるAIメタデータアシスタントを使用

して作業する際に使用する正規化プロセスを設定できます。AI使用プロファイルページは、「**AIメタデータアシスタント - その他の設定**」セクションにあります。

Note

AIによって生成されるメタデータフィールドは用途によって異なる可能性があるため、この正規化プロセスで使用される正規化ルールに特定のアクションレベル（IF）で定義される条件を追加することをお勧めします。例：if("{condition}"が存在する場合) または if("{condition}"が存在しない場合) - 詳細については、[正規化ルール](#)の操作をご覧ください。



AI生成メタデータに適用するMARC21正規化プロセスを選択する

AIアシスタントによるレコード強化のためのマージ方法の選択

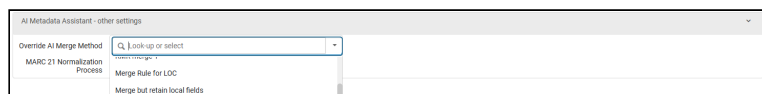
AIメタデータアシスタントでレコードを強化すると、生成されたメタデータが強化されたレコードと統合されます - 図書館の既存のレコードが優先レコードと見なされます。

デフォルトでは、ライブラリのデータは上書きされません。AIによって生成されたメタデータは、以下の場合にレコードへ追加されます：

- フィールドは繰り返し可能です
- フィールドは繰り返し不可であり、優先レコードにまだ存在していません

機関は、AIメタデータアシスタントによるデータの使用を管理し、デフォルトの併合ルールを上書きしてローカルの併合ルールを選択できます。例えば、レコード内に既存の繰り返し可能なフィールド（例：制作情報や出版情報）がある場合、それらを追加しないように設定したり、特定の問題があるとされるフィールドを修正したりできます。詳細については、[マージルールで作業する](#)を参照してください。

AI使用プロファイルページ（[設定メニュー](#) > [リソース](#) > [カタログ作成](#) > [AI使用プロファイル](#)）で、AIメタデータアシスタントでレコードを拡張するときに使用する上書きマージ方法を設定することができます。



AIメタデータアシスタントを使用してレコードを拡張するときに適用するマージ方法を選択します

AIメタデータアシスタントに送信されるメタデータリクエストタイプの構成

AIが提案するメタデータを正規化プロセスを通じて修正できるだけでなく、管理者は、[[設定メニュー](#) > [リソース](#) > [目録作成](#) > [AI使用プロファイル](#)]の「**AIメタデータアシスタント - その他の設定**」セクションで、AIに生成させるメタデータの種類を指定できます。

AI Metadata Assistant - other settings

Override AI Merge Method

MARC 21 Normalization Process

Requested Metadata Configuration table

AI Summary Request Type

AIメタデータアシスタント - その他の設定

Note

大規模言語モデル生成AIツールは俊敏であり、その応答は用途によって異なり、時間の経過とともに進化します。AIが返すメタデータは、毎回、プロンプトに示されたものより多い、または少ないメタデータが含まれる場合があります。特定の種類のメタデータを具体的にリクエストすると、AIがそのメタデータを生成する可能性は高まりますが、それが保証されるわけではありません。

AIに送信されるリクエストから特定の種類のメタデータを削除するには、リクエストされたメタデータ構成テーブルを有効にします。このテーブル内の行は、有効または無効化にすることしかできません（順序とデフォルト値の設定は、AIメタデータアシスタントの動作には影響しません）。

Enabled	Code	Description	Translation	Default Value	Updated By	Last Updated
<input type="checkbox"/>	control	Ask the AI assistant to try to generate control	Ask the AI assistant to try to generate control fields	<input type="radio"/>	ex_lmpf	01/28/2025
<input type="checkbox"/>	creators	Ask the AI assistant to try to generate creator	Ask the AI assistant to try to generate creator and contributor fields	<input type="radio"/>	ex_lmpf	01/28/2025
<input type="checkbox"/>	identifiers	Ask the AI assistant to try to generate identifier	Ask the AI assistant to try to generate identifier fields	<input type="radio"/>	ex_lmpf	01/28/2025
<input type="checkbox"/>	subjects	Ask the AI assistant to try to generate subject	Ask the AI assistant to try to generate subjects describing resources	<input type="radio"/>	ex_lmpf	01/28/2025
<input type="checkbox"/>	summary	Ask the AI assistant to try to copy or generate	Ask the AI assistant to try to copy or generate a summary of resources	<input type="radio"/>	ex_lmpf	01/28/2025
<input type="checkbox"/>	content	Ask the AI assistant to try to identify and format	Ask the AI assistant to try to identify and format the content of resources	<input type="radio"/>	ex_lmpf	01/28/2025
<input type="checkbox"/>	language	Ask the AI assistant to try to identify the language	Ask the AI assistant to try to identify the language of resources	<input type="radio"/>	ex_lmpf	01/28/2025
<input type="checkbox"/>	publication	Ask the AI assistant to try to identify publication	Ask the AI assistant to try to identify publication information	<input type="radio"/>	ex_lmpf	01/28/2025
<input type="checkbox"/>	physical	Ask the AI assistant to try to generate physical	Ask the AI assistant to try to generate physical description fields	<input type="radio"/>	ex_lmpf	01/28/2025
<input type="checkbox"/>	edition	Ask the AI assistant to try to identify edition	Ask the AI assistant to try to identify edition information	<input checked="" type="radio"/>	ex_lmpf	01/28/2025
<input type="checkbox"/>	series	Ask the AI assistant to try to identify series	Ask the AI assistant to try to identify series information	<input type="radio"/>	ex_lmpf	01/28/2025
<input type="checkbox"/>	classification	Ask the AI assistant to try to identify classification	Ask the AI assistant to try to identify classification	<input type="radio"/>	ex_lmpf	01/28/2025
<input type="checkbox"/>	other	Ask the AI assistant to try to identify and provide	Ask the AI assistant to try to identify and provide any other available metadata	<input type="radio"/>	ex_lmpf	01/28/2025

リクエストされたメタデータの設定テーブル

概要が有効になっている場合は、AIに送信される概要リクエストの種類も選択できます：

- 利用可能な場合は概要コピーを請求してください。そうでない場合(デフォルト)、AIは、提供されたデータまたは画像内に発行者による説明が存在する場合、それをコピーして発行者による説明として提示されます。それができない場合は、AI自身の言葉でリソースの説明を生成します。
- 可能であれば概要コピーを請求してください—提供されたデータまたは画像内に発行者による説明が含まれている場合、AIはそれをコピーするよう求められます。
- 生成された概要を請求してください—AIは独自の言葉でリソースの説明を生成するように求められます。

AI Summary Request Type

- Ask for summary copy if available
- Ask for summary copy if available and generated if not
- Ask for generated summary

AI概要リクエストタイプ

AIメタデータアシスタントを使用する

メタデータエディタでAIメタデータアシスタントを使用するには、次の両方の役職が必要です。

- 目録編集者
- AIによるカタログ作成

AIメタデータアシスタントを使用するには、生成AIツールで作業する目録者を図書館が制御できるようにするための専用役職である必要があります。

AIメタデータアシスタントを使用して、新しい書誌レコードを作成したり、既存の簡潔なレコードを拡充させたりすることができます。アシスタントがレコードの処理を完了すると、提案されたメタデータを含むドラフトがメタデータエディターにプッシュされ、それを確認して承認、修正、または却下できるようになります。リアルタイム通知により、ドラフトの準備が整ったことが通知されます。

新規レポートの作成

AIアシスタントを使用して、メタデータエディターで新しいレコードを作成できます。

AIアシスタントを使用してメタデータエディターで新規作成レコードを作成するには：

1. メタデータエディターの「新規」で、AIアシスタントで作成を選択します。AIアシスタントからの新規レコードのポップアップが開きます。

AIアシスタント フィールドからの新しいレコード：

フィールド	説明
タイトル	必須作成するリソースのタイトルを入力します
著者	任意リソース著者または作成者に関する情報を提供します。
ISBN	任意本のISBNを入力してください。
コンテンツメモ	任意リソースコンテンツに関する情報を提供します。
概要メモ	任意リソースの概要を提供します。
レコードフォーマット	現在、MARC 21のみがサポートされています。
テンプレートから拡張	生成されたメタデータを拡張するときに使用するテンプレート。 選択すると、AIによって生成されたメタデータが処理され、正規化された後、テンプレートから欠落しているフィールドが結果のドラフトレコードに追加され、図書館に必要なフィールドをカタログ作成者が見逃していないことを確認します。

フィールド	説明
	<p>Note</p> <p>Alma は、AIメタデータアシスタントを将来使用するために選択したテンプレートを記憶するため、カタログ化するリソースの種類を変更して別のテンプレートを使用する必要がある場合のみ、この設定を変更する必要があります。</p>
添付	<p>任意リソースに関する関連情報（本の裏表紙、目次、出版社から受け取ったリソースの説明など）を含むファイルを最大4つアップロードします。</p> <p>サポートされている形式：</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ JPEG ◦ PNG ◦ GIF ◦ PDF — PDFファイルをアップローディングする場合、最初の4ページがAIによって抽出され、処理されます。 ◦ DOCX -Word (docx) ファイルをアップローディングすると、最初の4ページがAIによって抽出され、処理されます。 <p>デバイスのファイルか、デバイスのカメラを使用してリソースの画像をキャプチャするかを選択できます。返答の品質を向上させるために、関連する情報を含む領域にフォーカスして画像を切り取ることができます。</p> <hr/> <p>Note</p> <p>デバイスに複数のカメラがある場合は、使用するカメラを選択できます。</p>
リクエストされたメタデータ	<p>AI が生成するメタデータのリクエストされたタイプを定義します。選択すると、AI は、リクエストされた特定のメタデータを生成するようにのみ求められます。オプションは、管理者の設定によって異なります（ AI メタデータアシスタントに送信されるメタデータリクエストタイプを構成する）は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ すべて — 管理者が有効化した利用可能なすべてのメタデータを生成するようAIにリクエストします。 ◦ 主題をリクエスト — 主題の提案を生成するようAIにリクエストします。 ◦ 概要をリクエスト — リソースの概要メモのコピーや生成を AIにリクエストします。 ◦ コンテンツ情報をリクエスト - コンテンツメモを生成するようAIにリクエストします（リソースのコンテンツに関するAI情報を提供する際に関連。たとえば、 CD の目次または曲目リストの画像） ◦ 追加のメタデータをリクエスト - 管理者が有効化したその他の利用可能なメタデータを生成するようAIにリクエストします。 <hr/> <p>Note</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ Alma は、AIメタデータアシスタントを将来使用するために選択したテンプレートを記憶するため、カタログ化するリソースの種類を変更して別のテンプレートを使用する必要がある場合のみ、この設定を変更する必要があります。

フィールド	説明
	<p>。 大規模言語モデル生成AIツールは俊敏であり、その応答は用途によって異なり、時間の経過とともに進化します。AIによって返却されるメタデータは毎回異なるため、リクエストされたメタデータよりも多いか少ない場合があります。特定の種類のメタデータを具体的にリクエストすると、AIがそのメタデータを生成する可能性は高まりますが、それが保証されるわけではありません。</p>

2. レコードの生成を選択して、情報をAIに送信します。

New Record From AI Assistant

Enter the metadata and/or images you want to use to generate the record. The new record draft will be pushed to MDE when ready.

Title* Summary Note

Author Record Format **Marc21**

ISBN Expand from Template **Books**

Content Note Requested Metadata* **Requested Metadata: All**

Attachments
Upload up to 4 images of the book (e.g. back cover, colophon)

AIアシスタントで新しいレコードを作成する

AIが情報を処理している間もAlmaで作業を続けることができ、メタデータエディタで作業できるメタデータが提案されると通知されます。詳細については、[AIメタデータ提案のレビュー](#)を参照してください。

簡潔な記録を拡充させる

簡単なレコードを充実させることができます。

簡潔な記?を充実させるには:

1. メタデータエディターで、編集モードで、画質を高めたいレコードを開きます。編集アクションで、**[AIアシスタントで強化]**を選択します。

AIアシスタントからのレコードの拡充ポップアップが開き、拡充対象として選択したレコードのタイトルが表示され

るので、**選択**したレコードが**拡充**されていることを確認できます。

関連情報（書籍の裏表紙、目次、出版社から受け取ったリソースの**説明**など）を含むリソースの画像を最大**4**枚添付することもできます。サポートしているフォーマットは、**JPEG**、**PNG**、**GIF**、**PDF**です（**PDF** ファイルをアップロードすると、**PDF** の最初の**4**ページが **AI** によって抽出され、処理されます）。

デバイスのファイル か、デバイスのカメラを使用してリソースの画像をキャプチャするかを**選択**できます。返される**応答**の品質を向上させるために、関連する情報を含む領域に焦点を当てるように画像を切り取ることができます。

Note

デバイスに複数のカメラがある場合は、使用するカメラを**選択**できます。

2. （オプション） 必要に応じてリクエストされたメタデータを選択します。

リクエストされたメタデータ フィールドは、**AI** に生成をリクエストするメタデータの種類を示します。**選択**すると、**AI** は、リクエストされた特定のメタデータを生成するようにのみ求められます。オプションは、管理者の設定によって異なります（「**AI** メタデータ アシスタントに送信されるメタデータリクエストタイプの設定」を参照）。オプションは次のとおりです：

- a. **すべて** — 管理者が有効化した利用可能なすべてのメタデータを生成するよう**AI** にリクエストします。
 - b. **主題**をリクエスト — 主題の提案を生成するよう**AI** にリクエストします。
 - c. **概要**をリクエスト — リソースの概要メモのコピーや生成を **AI** にリクエストします。
 - d. **コンテンツ情報**をリクエスト - コンテンツメモを生成するよう**AI** にリクエストします（リソースのコンテンツに関する**AI**情報を提供する際に関連。たとえば、**CD** の目次または曲目リストの画像）
 - e. **追加**のメタデータをリクエスト — 管理者が有効化したその他の利用可能なメタデータを生成するよう**AI** にリクエストします。
-

Note

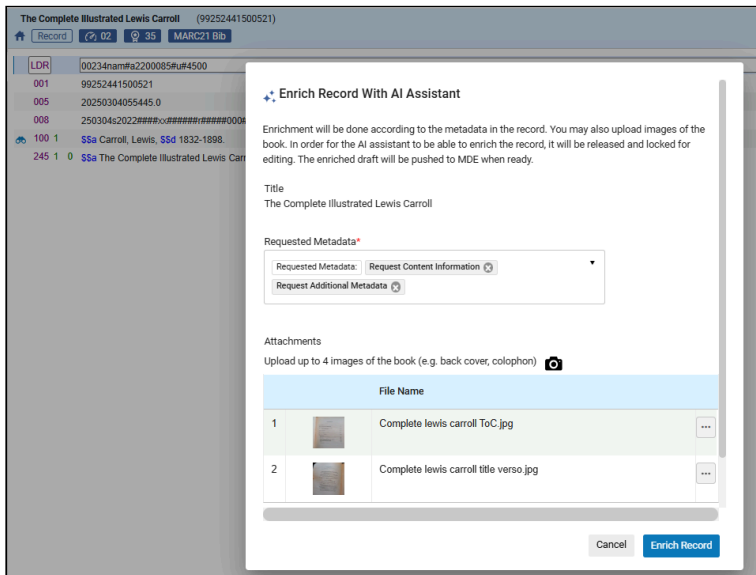
- **Alma** は、**AI**メタデータアシスタントを将来使用するために**選択**したテンプレートを記憶するため、カタログ化するリソースの種類を**変更**して別のテンプレートを使用する必要がある場合のみ、この設定を**変更**する必要があります。
 - 大規模言語モデル生成**AI**ツールは俊敏であり、その**応答**は用途によって異なり、時間の**経過**とともに進化します。**AI** によって返却されるメタデータは**毎回**異なるため、リクエストされたメタデータよりも多いか少ない場合があります。特定の種類のメタデータを具体的にリクエストすると、**AI** がそのメタデータを生成する可能性は高まりますが、それが保証されるわけではありません。
-

3. 情報を**AI**に送信するには、レコードの**拡充**を選択します。

4. レコードは、**AI** 処理が完了するまで編集がロックされ、**MDE**では表示専用レコードとして使用できます。**AI**が情報を処理している間も**Alma**で作業を続けることができ、メタデータエディターで作業できるメタデータが提案されると通知されます。詳細については、[AIメタデータ提案のレビュー](#)を参照してください。

Note

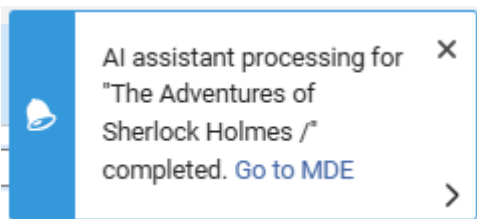
AI が提案したメタデータは、既存のレコードと統合され、新しいドラフトが作成されます。図書館の既存のレコードは、マージによって優先レコードとみなされ、すぐに使用できる結合方法では、既存のメタデータを上書きせずに AI が提案したメタデータが追加されます。詳細については、[AIメタデータアシスタントの設定](#)をご覧ください。



AIアシスタントでレコードを強化する

AIが生成したメタデータの提案を確認する

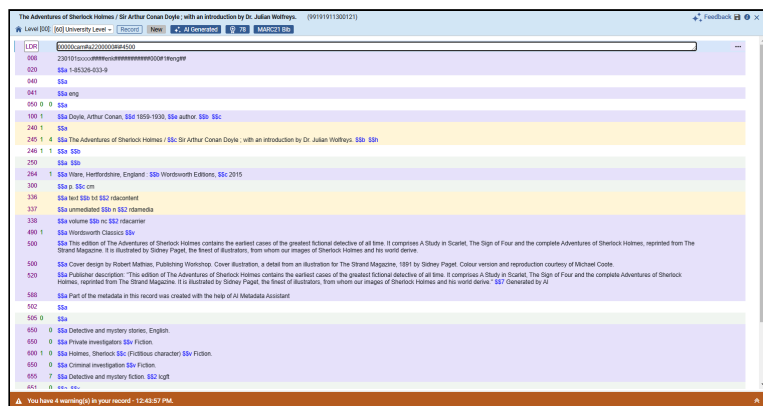
AIが生成したメタデータの提案を含むドラフトが作業のため準備できたら、メタデータエディターのドラフトへのリンクを含む通知が表示されます：



作業準備が整ったドラフトレコードへのリンクをリアルタイムで通知

リアルタイム通知メニューのカタログ作成カテゴリで、トリガーした完了済みAIメタデータアシスタントのタスクに関する情報も表示できます。

強化されたレコードのドラフト - AI が生成したメタデータの提案が紫色で追加されました



新しいレコードのドラフト - AI が生成した確認用のメタデータの提案が紫色で表示され、入力用のフィールドがテンプレートから追加されます

Almaモバイル2 アプリケーションでのAIメタデータアシスタントを使用して作業します

Almaモバイルアプリを使用すると、図書館員はモバイルデバイスのカメラを使用して図書館のリソースを処理できます。たとえば、アイテムのバーコードのスキャンを実行します。

AIによる目録役職の目録者は、これを使用して図書館リソースの写真を簡単に撮影し、AIメタデータアシスタントに送信して処理できるようになります。

アシスタントが画像の処理を完了すると、AIアシスタントが提案されたメタデータを含むドラフトがメタデータエディタにプッシュされ、目録者を確認して承認、修正、または却下できるようになります。

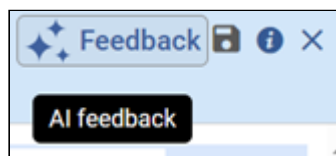
アイテムのバーコードをスキャンして拡充対象のレコードを取得し、モバイルデバイスのカメラでアイテムの写真を撮影してAIメタデータアシスタントに送信することで、既存のレコードを強化できます。

タイトルと画像を送信して（必要に応じてさらにオプション情報を入力することで）新しいレコードを作成することもできます。

Alma Mobileアプリの詳細については、[Alma Mobile2アプリケーションの紹介](#)を参照してください。

フィードバックの送信

AIメタデータアシスタントの提案の品質に関するフィードバックを送信するには、AIメタデータアシスタントを使用して作成/拡充されたドラフトを操作しているときに、MDエディタのAIフィードバックボタンをクリックします。このフィードバックは、AI生成メタデータの品質を経時的に監視するために使用されます。



AIアシスタントフィードバックボタン

AI生成メタデータの提案に与えるスコアを1～5から選択し、詳細を示すコメントを入力します：

We would love to hear your feedback

Please rate the AI assistant -quality of data

★ Poor ★ Fair ★ Good ★ Very Good ★ Excellent

Please explain your answer above. (Optional)

Please do not include any personal information

By sharing your comments with us, you agree that Clarivate may use your feedback to improve our

Cancel Submit

AIアシスタントスコア提案

AI提案のメタデータによるレコードの識別

AIメタデータアシスタントを使用してレコードが作成または強化されると、この情報はAlmaで次の2つの方法で維持されます。

1. 生成されたドラフト内のMARC21メタデータ:
 1. AIによって生成されたメタデータの提案に加えて、588の説明ノートがドラフトに追加されます-このフィールドはAlmaで検索可能です。このフィールドはAlmaで検索可能です。
 2. AI生成メタデータに520の概要メモが含まれている場合、AIによって生成されたことを示すデータ出所(\$57)サブフィールドが追加されます(概要が画像からコピーされたかAIによって作成されたかに関係なく、これは常に追加されます。これは、データをコピーするAIプロセスによって概要に変更が加えられる可能性があるためです)。
 3. 管理者は、他のフィールドやサブフィールドをドラフト(例: カタログのAIメタデータポリシーに関する情報を含むローカルフィールド)に追加する正規化プロセスを設定することもできます - 詳細については、[AIメタデータアシスタントの設定](#)をご覧ください。
2. 書誌レコード情報: AIが生成したメタデータの提案を含むドラフトが保存されると(リリースまたは破棄されずに)、AIメタデータアシスタントの使用に関する情報が記録され、アナリティクスとレコードバージョンで表示できるようになります。

アナリティクスでAIメタデータアシスタント情報を表示する

AIメタデータアシスタント情報は、アナリティクスの書誌詳細共有ディメンションで利用可能です。

各レコードの書誌詳細は、それが[AIで作成]または[AIで強化]のどちらかという情報を保持します。

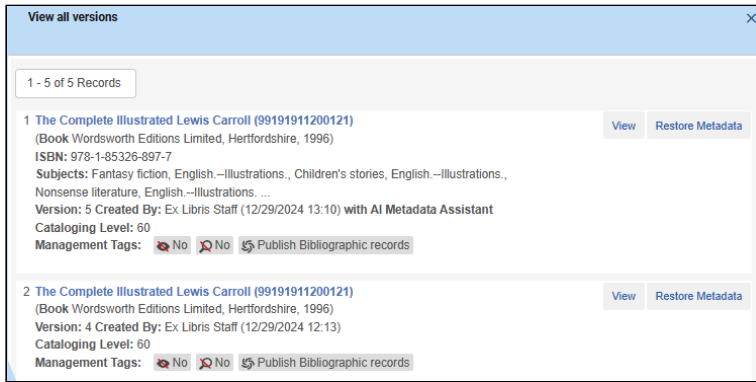
これにより、図書館はAIアシスタントで作成されたタイトルまたはAIアシスタントで強化されたタイトルの数に関するレポートを作成できます。

詳細については、[書誌詳細](#)を参照してください。

レコードドラフト内のAIメタデータアシスタント情報を見る

2025年2月の正式な稼働開始以降にAIメタデータアシスタントを使用して作成または拡充され、その後別の目録者またはプロセスによってアップデートされた(レコードバージョンを生成)レコードについて、レコードバージョンを表示する

と、どのバージョンがAIメタデータアシスタントで作成されたかを識別できます：

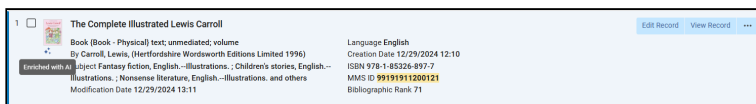


バージョン **5** - AIメタデータアシスタントで作成

タイトル検索で表示されるAIアイコン

Almaの新しいタイトル検索UXでは、AIメタデータアシスタントを使用して作成または強化されたレコードにAIスターアイコンが表示されるため、識別しやすくなっています。

アイコンの上にマウスを置くと、レコードがAIを使用して作成されたか、AIで強化されたか、またはその両方であることを示すツールヒントが表示されます。



タイトル検索結果のAIアイコン

よくある質問

- Q:** レコードを作成または拡充するために使用するデータは、AIのトレーニングに使用されますか？

A: いいえ - AIとデータを共有するのは処理のためだけで、トレーニングのためではありません。
- Q:** メタデータはどこから来ますか？

A: メタデータは、目録者によって提供された情報（手動または拡充される書誌レコードから）に従って、AI LLMによって生成されます。現在サポートされている入力情報は、リソースのタイトル（必須）などの書誌メタデータと、リソースの画像を含むファイル（タイトルページ、裏表紙、目次、出版社の説明）などです。

すべてのAIモデルと同様に、モデルのトレーニング データも応答の生成に使用されます。これには、MARC フィールドとサブフィールド、関連する LC主題に関する知識、および AIモデルのトレーニングデータに特定のリソースに関する情報（発行年、著者の生年、リソースの説明など）が含まれます。これらの情報は、メタデータの生成にも使用される場合があります。
- Q:** AIはオンライン検索を実行してデータを取得してくれますか？

A: いいえ - 私たちのAIプラットフォームはオンライン検索を使用しておらず、メタデータは図書館によって提供される情報とAIトレーニングデータ内に存在する情報に基づいて提供されます。
- Q:** 本の画像をアップロードした場合、どこかに保存されますか？

A: いいえ、画像はメタデータを提案するためにのみ使用し、他の用途のために保存することはありません。

5. Q: AIがカタログを作成してくれるのでしょうか？
A: AIアシスタントが目録者によるレビュー用にメタデータを提案します。目録者はそれをレビューし、提案を承認、修正、または拒否することができます。生成AIでは出力に不正確さや偏りが生じる可能性があるため、人間の能力と技術力を組み合わせることで、データの整合性を維持しながら、より合理化された効率的なカタログ作成エクスペリエンスを実現できます。
6. Q: AIメタデータアシスタントを使用するたびに、同じリソースに対して異なるメタデータが提案されるのはなぜですか？
A: 大規模言語モデル生成AIツールは俊敏であり、その応答は用途によって異なり、時間の経過とともに進化します。AIによって返されるメタデータは、AIに提供される情報、カタログ化されるリソース、およびAIの内部処理自体に応じて毎回異なります。
7. Q: AIメタデータアシスタントを使用してカタログ内の任意のレコードを拡充できますか？
A: いいえ-AIアシスタントは、編集がロックされておらず、カタログ作成の役職とレベルに応じて編集が許可されているレコードを拡充するためにのみ使用できます。
さらに、フェーズIではMARC 21形式のレコードのみがサポートされ、CZレコードの拡充はサポートされません。ネットワークメンバーの場合、ネットワークレコードを作成または拡充する機能は、ネットワークの設定によっても異なります。
8. Q: フェーズIでは、LC典拠を使用して、英語のMARC 21書籍カタログ作成をサポートします。次のフェーズでは何が計画されていますか？
A: 私たちは世界中の図書館と話し合っておりワークフローを理解し、ニーズを評価し、コミュニティと共に次に何を重点を置くかを決めています。オプションには、より多くのワークフロー、より多くの目録言語、より多くの主題語彙が含まれます。
9. Q: 返された表題が本物かどうか、どのように確認するのですか？
A: 返された表題が既存の典拠レコードと一致し、その典拠レコードに全面的にまたは部分的にリンクすることを確認します。表題は優先用語または非優先用語のいずれかに一致する可能性があります。AIによって非優先用語が提案された場合、メタデータエディターのF3を使用してカタログ作成者によって、またはスケジュールされた「典拠-優先用語修正」ジョブによって、自動的に優先用語に更新できます（詳細については、[「典拠記録に関連するジョブ」](#)を参照）。
10. Q: AIは任意のMARC 21フィールドを提供できますか？
A: いいえ。弊社では、有用性と正確性のバランスを保ちながら、最も有用なフィールドを生成するようAIアシスタントに依頼しています。また、AlmaはAIから提案されたメタデータフィールドを処理しており、提案をレコードドラフト形式でカタログ作成者に提示して、簡単にレビューとワークフローを実行できるようにします。また、コミュニティと協力して、さまざまな分野の有用性を評価し、決定しています。
AIは、役立つ情報が含まれている可能性のある要求されていないフィールドを生成する場合があります。AIは確率的にメタデータを生成するため、ローカルフィールド、システム番号、レコードのソースなど、レコードを表さない無関係なフィールドも生成されることがあります（レコードがコピーされないため、特定のフィールドのみが生成されます）-このようなフィールドには無関係なデータや一般的なデータが含まれている可能性が高いため、結果を処理する際、Almaはこれらのフィールドを削除します。
11. Q: 図書館の利用者全員がAIメタデータアシスタントを利用できるようになりますか？
A: これのアクセスを制限するのは図書館です。AIメタデータアシスタントワークフローはメタデータエディタに埋め込まれています。書誌レコードを作成または編集するには目録者である必要があります。また、新しいワークフローを使用するには、新しいAIによるカタログ作成の役職も必要です。
12. Q: 図書館でAI拡充データを使用しないように選択できますか？
A: もちろんです！図書館はこのツールの使用を完全に制御できます。AIメタデータアシスタントを使用するには、まず図書館の一般管理者が新しいAI使用プロファイル設定ページでこれを有効にする必要があります。

13. Q: 私はネットワークメンバーです。AIを使用してネットワークレコードを拡充させることはできますか？
A: もちろんです！ネットワークがAIメタデータアシスタントを有効にすると、所属機関でAIメタデータアシスタントを有効にしているメンバーは、それを使用してネットワークレコードを強化できるようになります。
14. Q: 私のネットワークでは一部のフィールドの編集が制限されています。それでもAIはそれらのフィールドを作成できますか？
A: いいえ。ネットワークによって強制される制限はAIメタデータアシスタントワークフローにも適用されます。目録者は、手動で作成または拡充できるメタデータの作成または拡充にのみこのワークフローを使用できます。
15. Q: どのLLMで働いていますか？
A: モデルと機能が進化するにつれて、モデルは変更される可能性があります。2025年2月のリリース時点では、AIメタデータアシスタントは gpt_4o_2024_08_06 LLM モデルで動作していました。